



同時発表：北海道開発局

令和5年1月10日

総合政策局公共事業企画調整課

「北日本最大の吊り橋・絶景の白鳥大橋の観光資源化」 インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト・シンポジウム

～アフターコロナ時代！室蘭・登別・伊達・豊浦・洞爺湖・壮瞥・白老（西胆振）の
新たな価値を創造し、世界から選ばれる広域観光圏を目指して～

国土交通省では、インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトのモデル地区の一つとして「白鳥大橋」の取組を推進しています。

今般、北海道開発局では、供用開始25周年を迎える「白鳥大橋」の観光資源化と西胆振地域の広域周遊観光推進により、“稼ぐ”観光圏の実現について考えるシンポジウムを下記のとおり開催します。

2022年の国際観光は、コロナ禍で抑制されていた強い潜在需要と旅行先での制限緩和等により堅調に回復しています。

北海道開発局では、北海道の強みである食と観光を戦略的産業として位置付け、食と観光を担う「生産空間」を支えながら、世界水準の価値創造空間の形成を目指すこととした「北海道総合開発計画」(H28.3.29閣議決定)を推進するため、コロナ禍においても政府が推進する公共施設の観光開放「インフラツーリズム」に積極的に取り組んできました。

このうち、令和2年に「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」のモデル地区に選定された北日本最大の吊り橋「白鳥大橋」(室蘭市)では、これまで不可能であった360度の絶景を堪能できる主塔登頂を観光客に開放する大胆な施策を開始しています。この取組は地元・室蘭市の観光振興に貢献することはもちろんのこと、令和2年にオープンした「民族共生象徴空間(ウポポイ)」、令和3年にユネスコ世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」、国内有数の名湯である登別・洞爺の温泉群等を有する西胆振地域における周遊価値の拡大により、地域経済の活性化に貢献することが重要になります。

今回のシンポジウムでは、北海道観光がチャレンジしなくてはならない「地域が稼ぐ観光」、そして単独の市町村ではなし得ない、本当の意味での「地域連携による広域観光」の実現に向けて、観光振興の有識者を招き、地元首長の皆様と一緒に今後の観光政策と北海道の各自治体に求められる観光まちづくりの具体的な展開を考えます。

1 日時 令和5年1月21日(土) 10時00分～12時30分

2 場所 エルムマリーナ室蘭(室蘭市絵鞆町4丁目2-14)
(一般の方はWEB聴講となります。)

3 プログラム

(1) 基調講演：「観光庁における観光地域づくりの取組」

○観光庁 観光地域振興部 観光地域振興課長 河南 正幸 氏

(2) 特別講演：「広域観光を視野に入れた白鳥大橋のインフラツーリズム」

○跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 准教授
篠原 靖 氏

(3) パネルディスカッション：「北海道観光の新たな幕開け！

コロナ後の地域が稼げる観光地づくり」

- (コーディネーター) ○篠原 靖 氏 (跡見学園女子大学准教授)
(パネリスト) ○河南 正幸 氏 (観光庁観光地域振興課長)
○篠宮 章浩 氏 (室蘭開発建設部長)
○青山 剛 氏 (室蘭市長)
○小笠原春一 氏 (登別市長)
○菊谷 秀吉 氏 (伊達市長)

4 その他

- (1) シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として、WEB上での聴講となります。通信状況により、映像の乱れや一時的な停止があることをあらかじめご了承ください。
- (2) WEB聴講を希望される方は、別添1の申込方法により1月17日(火)までにお申し込み願います。期日までにご連絡いただいた方に、聴講用のURLをお送りいたします。
- (3) 報道関係者で取材を希望される方は、別添2「取材申込書」により1月17日(火) 15時までにお申し込み願います。申込み受領後に確認メールをお送りいたします。

<問い合わせ先>

【インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトについて】

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 武田、井関
電話(代表) 03-5253-8111 (内線24563、24524)

【聴講・取材に関して】 北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課 瀬能、中
電話(代表) 011-709-2311 (内線5433、5441)

「北日本最大の吊り橋・絶景の白鳥大橋の観光資源化」
インフラツーリズム
魅力倍増プロジェクト・シンポジウム

～アフターコロナ時代！室蘭・登別・伊達・豊浦・洞爺湖・壮瞥・白老の
 新たな価値を創造し、世界から選ばれる広域観光圏を目指して～

日時

2023/ **1/21** ± 10:00 ~ 12:30
 [オンライン接続 9:40より開始]

開催形式

WEB配信
 [ZOOMウェビナー]

エンルムマリーナ室蘭から配信します！

プログラム

- 10:00 開会挨拶
- 10:05 **基調講演「観光庁における観光地域づくりの取組」**
 観光庁 観光地域振興部 観光地域振興課長 河南 正幸氏
- 10:35 **特別講演「広域観光を視野に入れた白鳥大橋のインフラツーリズム」**
 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科准教授 篠原 靖氏
- 11:05 休憩 10分
- 11:15 **パネルディスカッション**
「北海道観光の新たな幕開け！コロナ後の地域が稼げる観光地づくり」
 [コーディネーター] 篠原 靖氏(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科准教授)
 [パネリスト] 河南 正幸氏(観光庁 観光地域振興部 観光地域振興課長)
 篠宮 章浩氏(北海道開発局 室蘭開発建設部長)
 青山 剛氏(室蘭市長)・小笠原 春一氏(登別市長)・菊谷 秀吉氏(伊達市長)
- 12:25 閉会挨拶

申込方法

申込フォームより事前登録

- 本シンポジウムは事前登録が必要です。
- ご登録いただいたメールアドレスに参加URLを送付します。
- 「@zoom.us」からの招待メールを受け取ることができるメールアドレスをご記入下さい。
- いただいた個人情報は、本シンポジウムの開催に伴う事務手続に限り使用いたします。
- 右のURLで申込ができない場合は、上記必要事項を任意の用紙に記入しFAXを送信下さい。
 送付先/北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課 中(なか)・阿部(あべ)

TEL 011-709-2311 (内線5441・5837) / FAX 011-746-1032

1/17(火) 申込〆切

記入事項/氏名、メールアドレス(必須)市区町村、会社名・学校名、役職

申込はこちら



申込URL
[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_8UVkQ3XUtoizwAO-GeH_qjA](https://us02web.zoom.us/join/https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_8UVkQ3XUtoizwAO-GeH_qjA)



開催趣旨

令和2年「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」モデル地区に選定された北日本最大の吊り橋「白鳥大橋」（室蘭市）では、これまで不可能だった360度の絶景を堪能できる主塔登頂を観光客に開放する大胆な施策を開始。地元・室蘭市の観光振興に貢献することはもちろんのこと、「民族共生象徴空間（ウポポイ）」（R2オープン）、「北海道・北東北の縄文遺跡群」（R3ユネスコ世界文化遺産登録）、国内有数の名湯である登別・洞爺の温泉群等を有する西胆振地域の周遊価値を拡大していくことで、地域経済の活性化に貢献することが重要になります。

本シンポジウムでは、北海道観光がチャレンジしなくてはならない「地域が稼ぐ観光」、そして単独の市町村ではなし得ない、本当の意味での「地域連携による広域観光」の実現に向けて、観光振興の有識者を招き、地元首長の皆様と一緒に今後の観光政策と北海道の各自治体に求められる観光まちづくりの具体的な展開を考えます。

講演

■ 基調講演「観光庁における観光地域づくりの取組」

河南 正幸氏 kannan masayuki

観光庁 観光地域振興部 観光地域振興課長

1991年、建設省（現国土交通省）に入省。道路分野を中心にインフラ整備、防災・減災、災害対応などの行政に従事。その間、在トルコ日本大使館において海外への経済・技術協力も経験。沼津市副市長、道路局ITS推進室長、中部地方整備局道路部長、千葉県県土整備部長を経て、2021年7月から現職。

■ 特別講演「広域観光を視野に入れた白鳥大橋のインフラツーリズム」

篠原 靖氏 shinohara yasushi

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科准教授

地域に眠る観光素材を掘り起こし、具体的な旅行商品化を図る面白企画の達人。大胆かつ斬新な発想での商品開発力はテレビ・新聞等マスコミでも有名。

現在、全国各地で新しい観光プログラムの開発や人材育成セミナーを担当し、広域観光圏やDMO組織構築、インバウンド戦略、ニューツーリズムによる集客システムの開発等を手がけている。また「国土交通省インフラツーリズム有識者懇談会」委員など多数の委員を歴任。

<主な経歴> 内閣官房 地域活性化伝道師 / 内閣府 クールジャパン地域プロデューサー / 総務省 地域力創造アドバイザー / 国土交通省 社会資本整備審議会委員 / 国土交通省 「全国道の駅」有識者懇談会委員

インフラツーリズムとは、橋、ダムなどの公共施設（インフラ）を地域の観光資源として位置づけ、普段はなかなか入る機会のないインフラの内部や、今しか見られない工事中の風景を見たり、インフラの持つ歴史を学んだり、「非日常」を楽しんだり、体験したりする取り組みです。

パネルディスカッション

北海道観光の新たな幕開け！コロナ後の地域が稼げる観光地づくり



コーディネーター
篠原 靖氏
跡見学園女子大学
観光コミュニティ学部



パネリスト
河南 正幸氏
観光庁 観光地域振興部
観光地域振興課長



パネリスト
篠宮 章浩氏
北海道開発局
室蘭開発建設部長



パネリスト
青山 剛氏
室蘭市長



パネリスト
小笠原 春一氏
登別市長



パネリスト
菊谷 秀吉氏
伊達市長

お問合せ

北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課 中（なか）・阿部（あべ）

TEL 011-709-2311（内線5441・5837） / FAX 011-746-1032

取材申込書

<入力事項>

氏名	
所属（会社名）	
電話番号	
メールアドレス	
取材方法	現 地 ・ WEB (どちらかに○を付けて返信ください)

<送信先>

北海道開発局 開発連携推進課 中（なか）、阿部（あべ）
メールアドレス：hkd-ky-genba-kengaku@gxb.mlit.go.jp

<注意事項>

- ✓ 本シンポジウムは全て公開です。また、シンポジウム終了後、記者ブリーフィングを予定しています。（現地のみ）
- ✓ 令和5年1月17日（火）15時までに、本取材申込書もしくは必要事項を記載の上、メールにて送付ください。
- ✓ 申込み受領後に確認メールを送付させていただきます。確認メールが届かない場合は、電話（011-709-2311（内線5441・5837））にお問い合わせください。